質問 11

Murata Software

質問
流体領域の作り方とモデル簡略化の方針

回答
・基本的には流体領域自動作成機能を使用します。内部流れでは、閉じた筐体の中に流体を充填します。外部流れでは、物体を囲む流体領域を作ります。
・自動作成機能を使わない場合は、流体領域の形状を作成します。
・流入出面は曲面や凹部を避けます。流路を少し延長し、平らな面に境界条件を置くと、収束性が改善する場合があります。
・流れや熱にほとんど影響しなさそうな細かなフィレット、ねじ、段差、隙間は簡略化したり、削除します。
・CADインポートを使う場合、インポート後にトポロジエラーが多いようならば、形状修復や、Parasolid形式に変換してからインポートすることも検討します。

関連ヘルプ：https://www.muratasoftware.com/products/mainhelp/desktop/ProjectCreation/AnalysisCondition/bernoullitab.htm

Copyright © Murata Software Co., Ltd. All rights reserved.